

領域	専門分野Ⅱ	授業科目	成人看護学Ⅱ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	2年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	非常勤講師	講師所属			

授業のねらい

専門基礎分野で学んだ知識を踏まえ、消化器機能障害のある患者を統合的に捉え、科学的根拠に基づく看護が展開できるよう教授する。

周手術期の患者の看護を通して、手術療法により生体機能が急激に変化している対象を理解し、生命の維持と苦痛の緩和を図るための援助を習得できるよう教授する。

授業目標

消化器機能障害をもつ患者の看護の方法を理解する。

周手術過程に応じた看護の方法を理解する。

授業概要

(消化器) (18時間)

1. 消化器疾患をもつ患者の特徴

2. 消化器疾患をもつ患者の看護

1) 症状に対する看護

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| (1) 嚥下困難 | (2) 食欲不振と体重減少 | (3) おくび・胸やけ |
| (4) 吐き気・嘔吐 | (5) 腹痛 | (6) 吐血・下血 |
| (7) 下痢 | (8) 便秘 | (9) 腹部膨満 |
| (10) 黄疸 | (11) 肝性脳症 | |

2) 検査・治療・処置を受ける患者の看護

- | | | |
|---------------------|--------------|-------------|
| (1) 胃液・十二指腸液検査 | (2) 造影検査 | (3) 内視鏡検査 |
| (4) 肝生検 | (5) 肝シンチグラフィ | (6) 腹部超音波検査 |
| (7) 腹部コンピューター断層撮影検査 | | |
| (8) 磁気共鳴画像検査 | (9) 薬物療法 | (10) 食事療法 |
| (11) 手術療法 | (12) 放射線療法 | |

3) 疾患をもつ患者の看護

- | | |
|-----------------------|--------------|
| (1) 食道疾患 | (2) 胃・十二指腸疾患 |
| (3) 腸・腹膜疾患(ストーマ管理を含む) | (4) 肝臓・胆嚢疾患 |
| (5) 膵臓疾患 | |

(周手術期) (10時間)

1. 手術療法とは

2. 術前患者の看護

1) 患者の特徴

2) 看護の特徴

3. 術中患者の看護

1) 手術室における看護の役割

2) 全身麻酔の影響

3) 局所麻酔の影響

4) 手術侵襲

5) 術中の体位と起こりうるリスク

4. 術後患者の看護

- 1) 術直後から麻酔覚醒までの援助
- 2) 麻酔覚醒から創傷の癒合・修復までの生体反応

授業の進め方

講義

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔5〕 消化器（医学書院）

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔4〕 臨床看護総論（医学書院）

ナーシンググラフィカ 成人看護学④ 周手術期看護（メディカ出版）

参考図書

評価方法

終講時 客観式テスト（消化器：70点 周手術期：30点）

試験時間は時間数に含む。